

今年最初のフリートレース。北風の寒い中、普通に行われました。艇数も普通に集まりました！！特にスタンダードはかなりハイレベルな面子が集まっていました。

コンディションは風向 30~60°を中心に大きく振れ回り、風速は 3~7 m/s と強弱も激しく、おまけに潮流も 150°方向へ（風向に対してほぼ左から右への真横）この風速でも無視できない程度のやや強い流れがありました。（※ 運営発表を見ないで書いていますので、私の体感の記憶です）そして岸寄りの B1 海面という事もあり、なかなかの訳わからないスリルのあるレースが楽しめました。

レポートはいつもなるべくわかりやすく書こうと思っていますが、今回はそんな事は忘れて潮流の影響を中心にめちゃくちゃわかりにくく書いてみようと思います。

潮流が風向に対してほぼ真横なので、マークヘアアプローチする際や廻航の際に常に東側へ流される事を念頭に入れておけば OK で、普通であればコース取りの際に左右で有利不利は生じないはずでした。ところが、今回は例外で結構影響があったと思います。常にマークの左寄りの岸の方にブローが見えていたと思いますが、拾いに行ってもなかなかおりて来ません。おりてこないブローはブローではなく潮目を境に潮流が変わっているために常に見かけの風が違う海面と考えるのが妥当です。潮目の手前（沖寄り）は潮流が速いために潮流と逆方向へ発生する潮流風も速くなります。潮目の奥（岸寄り）は潮流が遅いために潮流風も遅くなります。この潮流風と真の風（トゥルーウインド）が合成された見かけの風は潮目を越えた岸寄りでは風向が常に左（北寄り）に振れます。第一レースで右を使って 1 上ヘアプローチした時にこの状況が推測できたのでこの日はこの後すべて左中心でレースを組み立てました。

もちろん、やみくもに左へ突っ込めばいい訳ではなく、よく振れる風に合わせていく必要があります。この日は風軸が大きく変化しないだろうと読んでいましたが、暖かくなってくると東に大きく振れる事も多い。今回のレースでは私のヘタクソなコース取りと、ボートスピードの課題もあり優勝できませんでしたが、おおまかなストラテジーとしては合っていたと思います。

これ、最後まで読んでもらえるか心配ですが ^^ ; まったくわからないから図解で聞きたい方、あるいは「それ、違うだろ！」と思った方は今度会ったら声かけてください。

寒い中、皆様お疲れ様でした。